

平成30年6月

交通企画課だより No. 6

5月末の交通死亡事故発生状況 ～資料を活用して事故をなくしましょう～



5月末全死者数	46人
高齢死者数	31人
高齢者の構成率	67.4%

交通部交通企画課

交通死亡事故発生状況について(平成30年5月末現在)

1 全国・中国地方の死者数

区 分	平成30年	平成29年	前 年 対 比	
			増 減 数	増 減 率
全 国	1,368人	1,399人	△ 31人	△ 2.2%
中 国 地 方	105人	120人	△ 15人	△ 12.5%
計	46人	35人	11人	31.4%
広 島	8人	13人	△ 5人	△ 38.5%
鳥 取	9人	11人	△ 2人	△ 18.2%
岡 山	25人	35人	△ 10人	△ 28.6%
山 口	17人	26人	△ 9人	△ 34.6%

注) △は減少を, 無印は増加を表す(以下同じ)。

【広島県の全国的位置づけ】

死者数46人～全国で死者数が多い順から11位

1位:埼玉 80人, 最少:鳥取 8人

増減数11人増～全国で減少数が多い順から44位

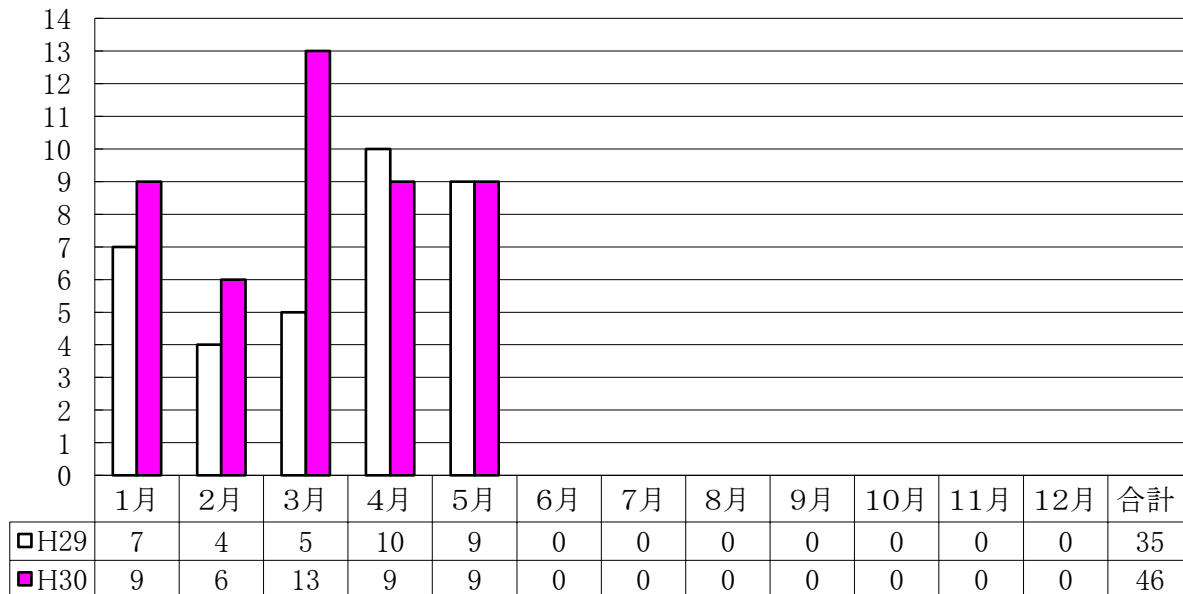
1位:京都 17人減, ワースト:千葉 16人増

増減率31.4%増～全国で減少率が高い順から40位

1位:京都 58.6%減, ワースト:秋田 71.4%増

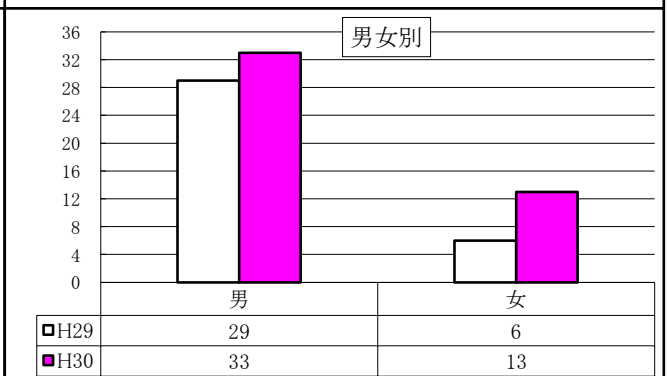
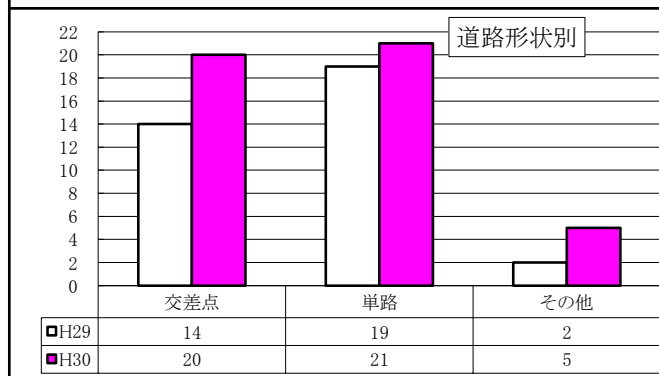
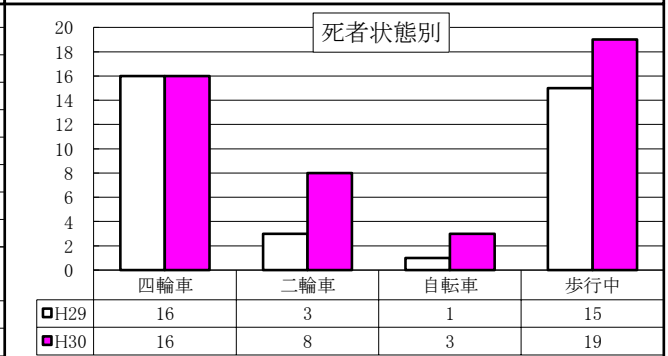
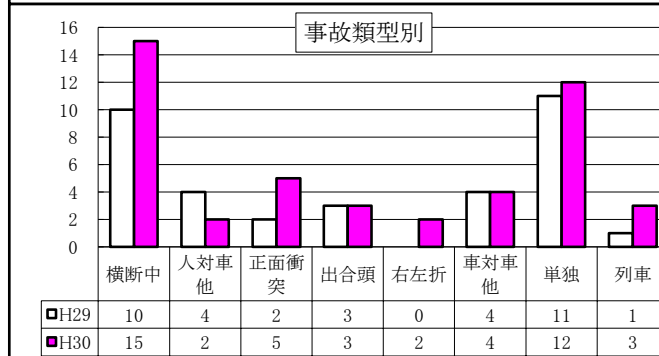
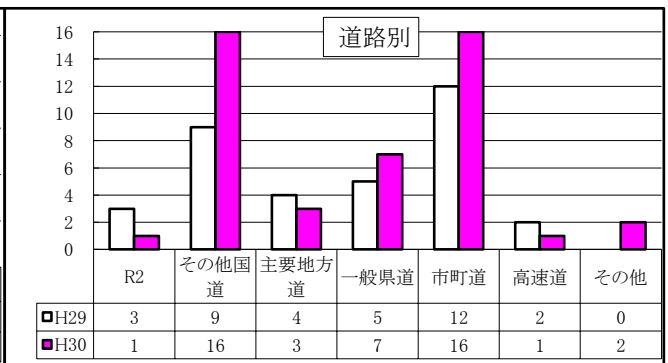
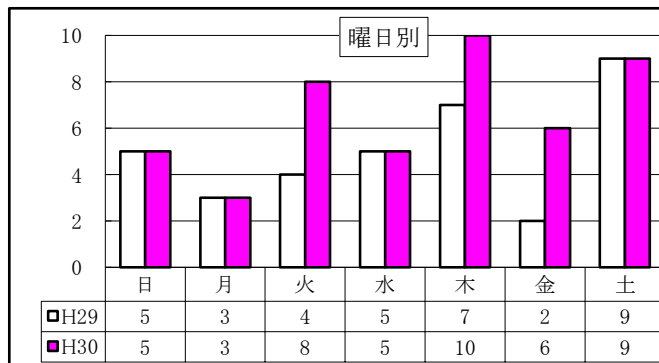
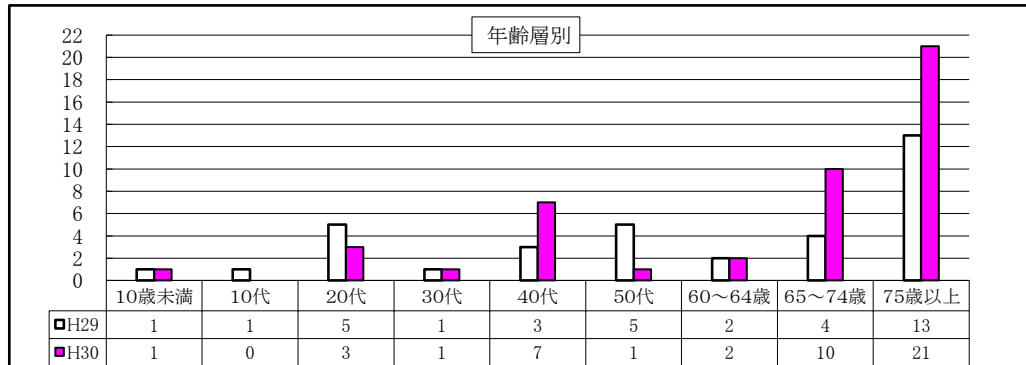
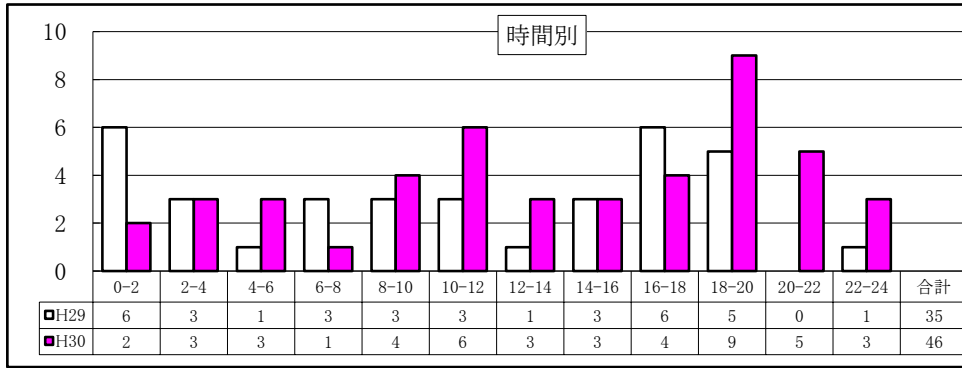
2 月別死者数の推移

※ 以下は広島県の状況



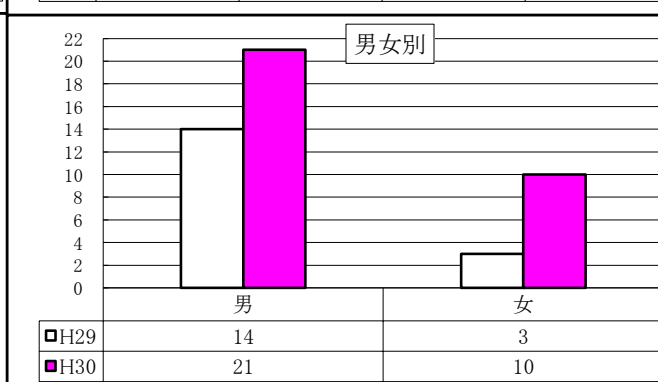
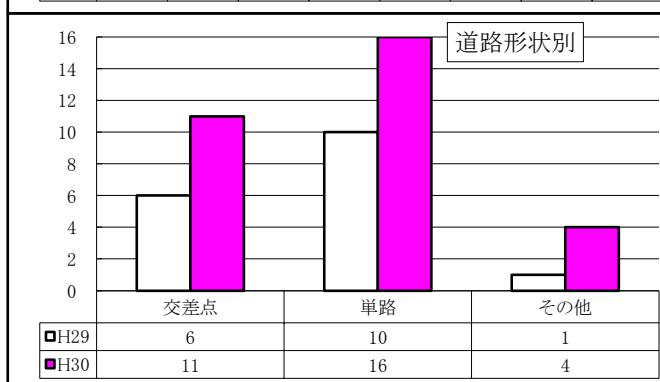
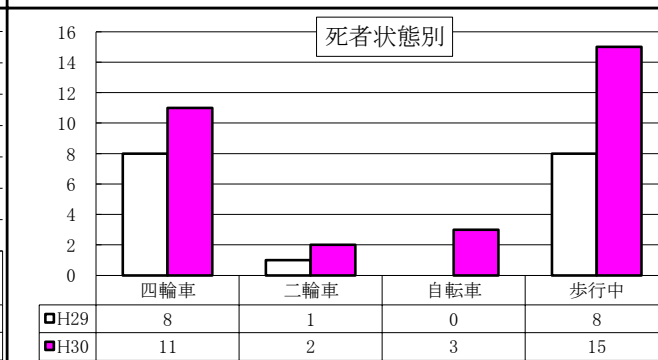
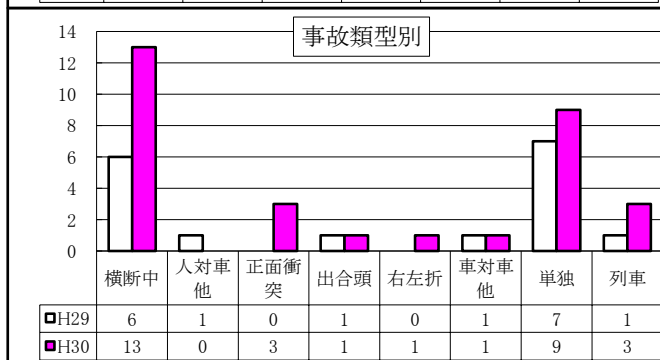
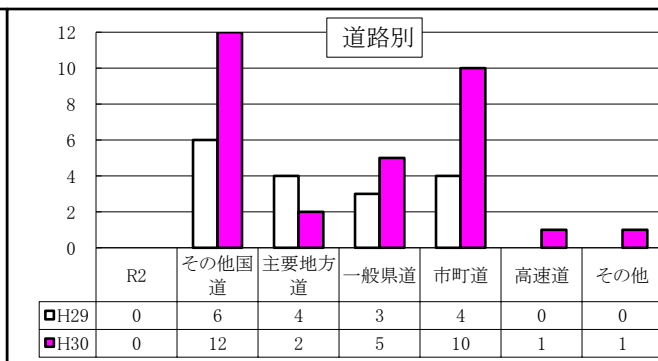
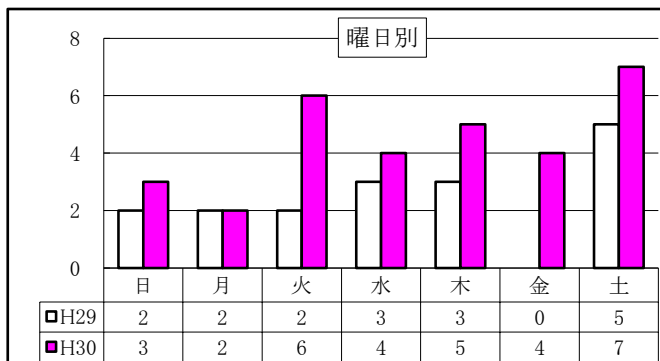
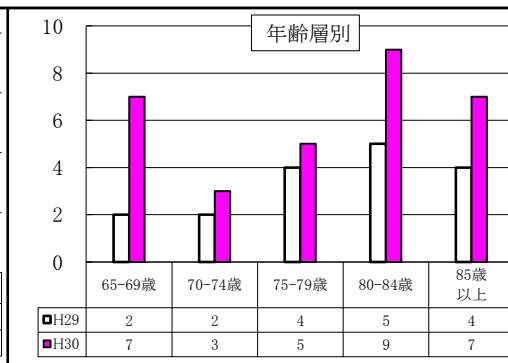
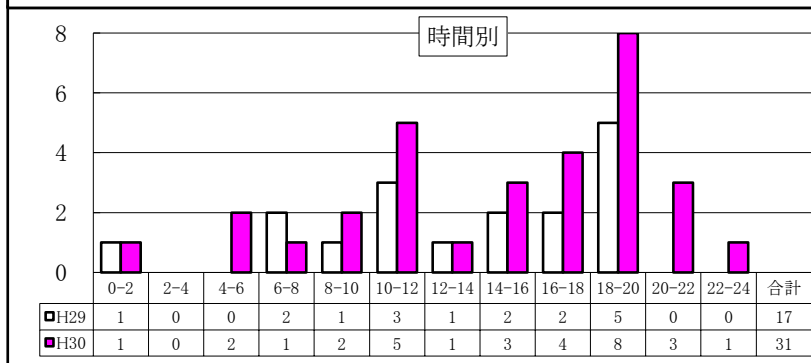
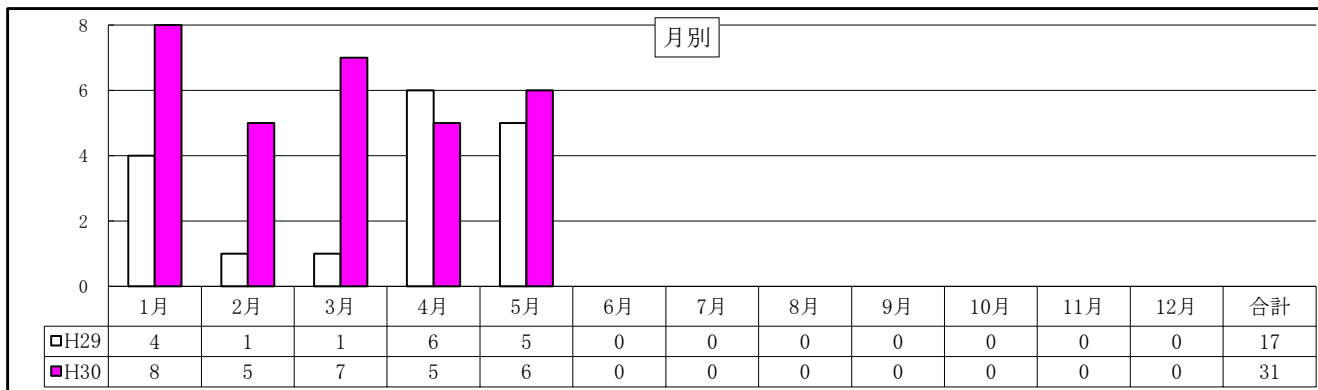
交通事故死者数

平成30年5月末現在



高齢者の交通事故死者数

平成30年5月末現在



(1) 5月末現在の交通死亡事故の特徴（昨年同期比）

- 昨年比で死者数が11人増加（交通事故件数は減少傾向）
- 時間帯別では、20－22時で特に増加
- 年齢層別では、40歳代、高齢者の死者が特に増加
- 事故類型別では、「人対車（横断中）」「正面衝突」が特に増加
- 道路別では、「国道」「市町道」で特に増加

(2) 高齢者が関係する交通死亡事故の特徴（昨年同期比）

- 31人死亡で14人増加（構成率約7割）
- 65－69歳、80－84歳が大幅に増加
- 時間別では、18－20時などで増加
- 道路別では、国道や市町道で増加



(3) 事故を起こさない・遭わないために気をつけていただきたいこと

◎ ドライバー

交差点を進行する際は「車や歩行者が出てくるかもしれない」という気持ちを持って運転しましょう。

夜間は、上向きライトを有効に活用して早めに危険を発見するように心がけましょう。

◎ 歩行者

ドライバーが歩行者を見ているとは限りません。通り慣れた道でも安全確認をしっかり行いましょう

夜間外出の際は、明るい服装や反射材・自発光式LEDライトを活用しましょう。

(4) 高齢者の皆さんに気をつけていただきたいこと

◎ 運転するとき

これまでの経験から運転に自信があっても、加齢に伴って思うように運転ができない場合があります。

こうした変化を自覚し、無理な運転をせず、安全運転を心がけましょう。

◎ 歩いて出掛けるとき

道路横断中の事故が増加しています。

車より先に横断しようとせず、車が通り過ぎるか止まるのを待ってから横断しましょう。